

スペイン バレンシア州でカキ等に降雹被害

[FreshPlaza](#) 2024年9月6日

農業者組合の最初の推計によると、バレンシア州ヴァルダルバイダ地方での過去数日間の降雹は、160万ユーロ以上の損害をもたらした。

複数回の荒天は6千～8千ヘクタールに影響を与えた。最も被害を受けた作物はカキで、降雹は約4千トンの果実に被害を与え、100万ユーロの損害をもたらした。また柑橘類にも大きな影響を与え、約2千トンの柑橘類が被害を受け、40万ユーロの損害となった。悪天候はブドウ園やアーモンドの果樹にも影響を与えたが、その数量と被害額ははるかに小さかった。

降雹は、アイエロデマルフェリット、ロレリア、オンティニエント、アグレント、アルバイダ、モンタヴェルネール、アドザネタダルバイダ、パロマール、カリコラ、ベルギダ及びオトスの各町に影響を与えた。被害率は5%から90%の範囲で、被害は非常に不均一である。アグレントとオンティニエントで最も被害が大きく、一部の生産者は作物をすべて失った。

雹害は、現在の農業保険制度でカバーされる気象リスクであることは留意するに値する。農業者組合は今後、農業保険連合会に対し、影響を受けた区画の被害を迅速に査定するよう要請する。

農業者組合はまた、影響を受けた生産者に対する一連の対策も呼びかける。求められる措置は、直接的な支援、農地と農地内の建物に対する固定資産税の免除、社会保障費の1年間の減額、利子補給の有る融資制度の創設、及び影響を受けた出荷協同組合に対する一連の措置と援助等である。

雨はバレンシア州の他の地域のコミュニティには有益

バレンシア州内の雹が降らなかった他の地域では、降雨は天水栽培の作物の干ばつを緩和するのに役立った。しかし、干ばつによる被害が取り返しのつかない場合もある。この意味で、農業者組合は、ワイン、生食用ブドウ、オリーブ園、アーモンドの木、及び穀物等について、干ばつによる損失を軽減するための直接的な支援を再度求めた。

雨は灌漑されている作物にとっても非常に有益であり、生産者が水利費を節約し、病害虫の脅威から果樹を守り、枯渇した帯水層や貯水池を涵養するのに役立つ。また、干ばつによって深刻な状態にある畜産用牧草地の再生に寄与し、家畜飼料のコスト増加を回避するのに役立つ。